

パワープレイ (1978)

POWER PLAY

OPERATION OVERTHROW [V]

メディア 映画

ジャンル アクション サスペンス

製作国 イギリス/カナダ

色彩 Color

時間 103分

初公開日 1979/11/17

公開情報 ワールド

【解説】

ヨーロッパの仮想小国で巻き起こったクーデターをリアルに描き、権謀術策の醍醐味を存分に味わわせてくれた知られざる傑作。大臣誘拐事件を機に、テロリスト一掃命令を下す大統領。だが、怪しき者は逮捕せよ、という秘密警察長官（プレザンス）の方針は、次々と無関係の犠牲者を出していた。知人の娘を殺された陸軍大佐（ヘミングス）は、戦術に長けた教授（モース）や同志と共にクーデターを計画、始めは拒んでいた戦車隊長（オトゥール）も加わり、遂に決行の日がやって来た……。

前半、水面下で繰り広げられる秘密警察とクーデター派の諜報戦はサスペンスに満ち、戦車隊が街中に進撃してくる後半からはスペクタクルに溢れ、全編通じての権力争いの駆け引きは知的興奮を呼び覚ます。そして、それらをあくまでもリアリティにこだわって、セミ・ドキュメンタリー・タッチで淡々と見せる新鋭M・バークの演出力。カナダ軍の全面協力によって実現した都市制圧の図など鳥肌も立ちかねない凄さだ。仮に“クーデター映画”というジャンルがあるならば、間違いなく最高峰に位置する完成度である。

【クレジット】

監督	マーティン・バーク	Martyn Burke
製作	クリストファー・ダルトン	Christopher Dalton
	デヴィッド・ヘミングス	David Hemmings
製作総指揮	ロバート・M・クーパー	Robert M. Cooper
原作	エドワード・N・ルトワク	
脚本	マーティン・バーク	Martyn Burke
撮影	オウサマ・ラーウィ	Ousama Rawi
音楽	ケン・ソーン	Ken Thorne
出演	ピーター・オトゥール	Peter O'Toole
	デヴィッド・ヘミングス	David Hemmings
	バリー・モース	Barry Morse
	ドナルド・プレザンス	Donald Pleasence
	ジョン・グラニック	
	チャック・シャマタ	Chuck Shamata
	アルバータ・ワトソン	Alberta Watson
	マーセラ・セイント・アメント	
	オーガスト・シェレンバーグ	August Schellenberg
	ハーヴェイ・アトキン	Harvey Atkin